※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和５年度　芸術科（音楽）科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	MOUSA 1（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・演奏の授業では、歌唱（独唱、合唱など）、器楽（ギター、キーボード、リコーダー、箏、三線など）の分野で、バラエティーに富んだ音楽体験ができるようになっています。様々なジャンルにチャレンジして、音楽を一生楽しめるような技能を身に付けましょう。
・創作の授業では　グループで作った作品（学校紹介 CM ソング等）を発表したり、作品について互いに意見を交換したりする機会を設けています。音楽を通してプレゼンテーション能力を身に付けましょう。
・鑑賞の授業では、聴くだけではなく音楽の構造や文化的・歴史的背景などについても学びます。音楽的な見方・考え方を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する。

1　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
2　自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
3　主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 知識 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 技能	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	曲にふさわしい発声で表現豊かに歌おう	【歌唱】 ・校歌 ・Ave Maria ・ヴォイス・トレーニング ・小さな空 ・’O sole mio	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 観察	観察 演奏の聴取
	ボディーパーカッションに挑戦しよう	【器楽】 ・Plymouth Rock	a:【知】曲想と手拍子や足踏みなどの音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b: 音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想と手拍子や足踏みなどの音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート グループワーク 観察	観察 演奏の聴取

※令和４年度以降入学生用

	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう	【器楽】 ・天国と地獄 ・C-a-f-f-e-e ・グリーンスリーブス	a:【知】曲想とリコーダーの音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想とリコーダーの音色や奏法との関わり、及びアーティキュレーションに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート ペアワーク 観察	観察 演奏の聴取
	音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう	【鑑賞】 ・音楽を織りなすさまざまな要素 ・組曲〈動物の謝肉祭〉 ・交響曲第９番〈合唱付き〉から第４楽章	a:【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、ほかの芸術との関わりについて理解している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的背景・歴史的背景、ほかの芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	観察 レポート

※令和４年度以降入学生用

2	J-POP や歌謡曲の特徴を理解して歌おう	【歌唱】 ・Lemon ・翼をください ・負けないで ・若者のすべて ・東京ブギウギ ・クリスマス・イヴ 【鑑賞】 ・歌謡曲から J-POP への 100 年	a:【知①】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【知②】音楽の特徴と文化的背景、ほかの芸術との関わりについて理解している。 b:【思①】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【思②】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:【態①】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 【態②】音楽の特徴と文化的背景、ほかの芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 観察	観察 演奏の聴取

※令和４年度以降入学生用

	表現を工夫してギターを演奏しよう	【器楽】 ・日曜日よりの使者 ・第三の男	a:【知】曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、ギターの奏法、基本的な身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 b: 二重奏に関わる音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に二重奏で表現する学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート ペアワーク 観察	観察 演奏の聴取
	キーボードで 学校紹介 CM ソング」をつくろう	【創作】 ・「コード進行」をもとにメロディーをつくろう ・コード・ネーム	a: 【知】音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化などの手法を活用して音楽をつくる技能、及び旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け、創作で表している。 b: 音色、リズム、旋律、テクスチュア、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c: 音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 観察	発表 グループワーク 振り返りシート	観察 発表 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	和楽器に親しみ、演奏に挑戦しよう	【器楽】箏 ・《さくら》変奏曲 ・〈初段〉（箏曲《六段の調》から） 【器楽】三線 ・海の声 ・てぃんさぐぬ花 【鑑賞】 ・箏曲《みだれ（乱輪舌）》	a:【知①】曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している 【知②】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の特徴について理解している。 b:【思①】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【思②】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:【態①】曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 【態②】和楽器やその作品の特徴、及び他の楽器と比較した際の音楽表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	観察

※令和４年度以降入学生用

	世界の諸民族の音楽を知ろう	【鑑賞】 ・世界の諸民族の音楽 「アリラン」「オルティンドー」 「ヨーデル」等	a:【知】世界各地の音楽の特徴と文化的背景・歴史的背景との関わりについて理解している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、演奏に対する評価と根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:世界の諸民族の様々な声や音楽から音楽表現の多様性を捉えること、音楽文化の共通性や固有性を考えることに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	観察 レポート
3	表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルをしよう	【歌唱】 ・ケンタッキーの我が家 ・サザエさん ・ぼくは　ぼく	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、及び合唱やヴォイス・アンサンブルなど表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、合唱やヴォイス・アンサンブルによる表現の特徴に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏の聴取	ワークシート 観察	観察 演奏の聴取

※令和４年度以降入学生用

	作曲家の生涯と作品をたどろう	【鑑賞】 ・クローズ・アップ・マエストロ 「J.S.バッハ」「W.A.モーツァルト」	a:【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的・歴史的背景、ほかの芸術との関わりについて理解している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、及び音楽の特徴と文化的背景・歴史的背景、ほかの芸術との関わりに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	観察 レポート

※令和４年度以降入学生用

	コンサートをひらこう	【歌唱】 【器楽】 【創作】 ・音楽１で取り扱った教材	a:【知】音楽Ⅰの学習を通して、表現の「知識」に関する諸事項について理解している。 【技】創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、他者との調和を意識して演奏する技能、及び器楽アンサンブルの表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、歌唱や器楽、創作で表している。 b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:一年間の音楽の授業のまとめとしてコンサートを企画・実施することや、音楽Ⅰの学習を経て自分自身の音楽に対する考え方や取り組み方がどのように変容したかを考えることに関心をもち、音楽表現を楽しみながら主体的・協働的に歌表現の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表	発表 グループワーク 振り返りレポート	観察 発表 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度